

2017年度 VLBI 懇談会役員会

日時： 7月20日 13:30-17:00

場所： 筑波大学東京キャンパス 会議室 432

出席（50音順、敬称略）：青山、川口、栗原、酒井、関戸、中井、村田、萩原、藤沢、本間、米倉。

電話会議参加：村田。

欠席：木村、河野、高羽、中川、三好。

オブザーバー参加：齋藤。

報告

1 各機関活動報告（各機関、大学連携）詳細は報告書参照

天文台（本間）：VERA, KaVA 運用2年目（5年間）

FX 撤去 ←（質問）ケーブルなど部品をいただくことは可能か？（米倉）

← 歴史的な機器として一部でも確保すべきでは？（関戸）

→ 巨大な機器なので管理場所など問題はあるが、前向きに検討

6m アンテナも停止 三鷹へ移設なども検討

宇宙研（村田）：54m 鏡 2019 年度完成予定

54m 鏡の受信機として X, Ka (32GHz) を搭載。

さらに拡張系に 19 GHz 以上の受信機の搭載可能

鹿島（関戸）：ヘリウム漏れにより受信機冷却停止。22 GHz 帯で雑音温度 1000K 程度

記念品用のアンテナカードを作成（好評）

→ 他のアンテナ基地局でも作成しては？

ダムカードやマンホールカードのイメージ

国土地理院（栗原）：VGOS 観測局について Onsala は 5 月に開局

IVS 評議会：若杉が現ボードに参加

AOV 会議：日本、中国、韓国、Australia, New Zealand が参加

極地研（青山）：VSSP64 autoobs 動かず（茨城で最新版を試験するも動かず）

→ 現状 VSSP32 で運用

南極では skype も厳しい（メールでの対応は可）

岐阜大学：中井が代理報告

山口大学（藤沢）：部品故障（天文台、水沢に代用品打診）

三菱保守に付き添って技術習得をするべき

茨城大学（米倉）：ビデオコン用の LO が故障。いくつかのチャンネルで基準信号が出力されない。

筑波大中（中井）：（南極関連：文科省の要請により、とりあえず初期3年分を概算要求）

鹿児島大学：齋藤が代理報告

大阪府立大学：中井が代理報告

2 学生シンポジウム（酒井）

発表内容：発表のうち、半数は **single-dish** 観測結果報告

開始時間：午後スタートは、移動に都合が良い印象（昨年度経験より）

審議議題

1 2017年度VLBI懇談会シンポジウムについて

- ・ 場所（会場）：帝京科学大学-倉山氏（米倉推薦）に打診 → 倉山氏概ね了承
人員構成（スタッフ1人+学生アルバイト） → 特に問題なし

- ・ 日程：学生シンポ（1日間）+V懇シンポ（2日間）

候補1：学生シンポ 12/25（終日）+ V懇シンポ 26-27日（終日）

候補2：学生シンポ 12/25（午後）- 26（午前）+ V懇シンポ 26（午後）- 28（午前）

候補3：学生シンポ 12/24（午後）- 25（午前）+ V懇シンポ 25（午後）- 27（午前）

→ 倉山氏に検討を打診

（⇒注：その後、他の大きな研究会や会議がその期間に予定されていることが判明し、日程を変更することとした）

- ・ LOC 候補：倉山智春（帝京科学大学）、米倉覚則（茨城大学）、杉山孝一郎（国立天文台）
- ・ 学生セッション候補：古谷庸介（山口大学）
- ・ SOC 候補：川口則幸（国立天文台）、中井直正（筑波大学）、岳藤一宏（NICT）、秦和弘（国立天文台）
- ・ 内容：去年はSKAなど将来計画の話。

近未来の「将来計画」にとらわれず、個人に任せて分野にとらわれない自由な視点から将来的な希望や展望について意見交換や議論ができる場としてはどうか？

- ・ メールによる周知を実施（⇒中井）

2 次期事務局

- ・ 第一候補：大阪府大 ← 川口会長から打診（⇒注：その後、大阪府大の了承が得られた）
- 第二候補：国立天文台

3 次期（2018/01-2019/12）役員選挙について

会則第6条

- （1） 総会もしくは、郵便、電子メールによる会員の投票で、会長、事務局長、及び若干名の幹事を選ぶ。
- （2） 役員任期は2会計年度とし、再任を妨げないものとする。

* 次期事務局（長）

・ 役員より候補（今回は大阪府立大？小川）を掲示

- ・信任投票
 - * 会長
 - ・継続の場合は信任投票
 - ・会長が交代する際は、信任投票ではなく自由投票を実施
 - 川口氏、継続の依頼を前向きに検討(？)
 - * 代表を出す機関の増減 → 有無の確認
 - * 機関代表
 - ・代表候補を機関より提出(電子メールにより要請)
 - ・代表候補者に対する信任投票
 - * 学生代表
 - ・代表候補より提出(電子メールにより要請)
 - ・代表候補者に対する信任投票
 - (3) WEB サービスでの投票システムが存在する模様(利用を検討)
 - (4) タイムライン
 - * 機関代表候補の選出: 10月半ばから11月初めまで
 - * 投票開始: 11月半ばから総会時まで
- 4 その他、検討事項
- (1) 歴史的な装置などの保存について
 - ・候補機器のリスト化(写真と情報): 各地の施設に調査依頼(関戸)
 - ・河野宣之氏(水沢)に打診するのが良いのでは?(関戸案)
 - (2) 臼田 64m アンテナの存続。VLBI 懇談会から嘆願書(?)の作成
 - ← ここ1年が重要と考えられる。早急に対応が必要
 - (3) アンテナカードを組織的に制作運用
 - ・注目度や関心度は高い。
 - ・収集時に他局の存在や情報を提供すれば、VLBI や各局の周知に役立つ
 - ・制作に関しては、労力の必要な印刷部を外部への依頼も検討
 - ・鹿島局(関戸)がまとめ役として検討
 - (4) 大学運用のアンテナの運用経費について
 - ・日本のVLBIとして大きな計画を作れないか、検討が必要
 - ← 現状、保守や修理ではお金がつかない。